

総務常任委員会

(平成31年 1 月 21 日)

○ 森 康哲委員長

それでは、総務常任委員会を開会いたします。

本日は、1月7日に小山田地区市民センターで実施いたしました議会報告会、シティ・ミーティングで出されました市民からの意見につきまして、整理を行いたいと思います。市民から出されました12件の意見につきまして、まとめた資料を配信しておりますので、ご覧いただければと思います。

それでは、資料の説明を事務局からいたします。

○ 笠井議会事務局主事

済みません、事務局笠井でございます。

会議用システムなんですけれども、フォルダーの方、トップページから02番、総務常任委員会、22番、平成31年1月21日の中の、ファイル01、議会報告会、シティ・ミーティングで出された意見（案）というものがありますので、そちらの方をお開きください。

よろしいでしょうか。

今回、総務常任委員会の議会報告会で市民の方から出された意見につきましては、議会報告会のほうで4件、シティ・ミーティングのほうで8件の、計12件となっております。

主な質疑応答の概要につきましては資料に記載をさせていただいたとおりでございますが、整理としまして、全ての意見について、③その他の意見という形で整理をさせていただいております。

なお、2ページ目のほうにいただきまして、8番目の意見、9番目の意見でございます。

8番目の意見につきましては、地区防災組織活動補助金の使途の部分につきまして、防災資機材の整備に要する経費の補助メニューが、現状のニーズにそぐわなくなっているといった点が主なものでありました。また、9番目の意見でございますが、小山田地区は、起伏の激しい地域であることから、災害時に無線機を使って連絡を取り合う場合、音声が届かなくなることがあるために、災害時に適切に活用できるための環境整備を求める意見でありました。

この両意見につきましては、危機管理監に申し伝えることと整理しております。

また、防災以外のテーマでありましたが、10番、11番の意見につきましては、小山田地区も含めたデマンド交通の社会実験に関する意見でありまして、所管の都市・環境常任委員会に申し伝えることと整理しております。

最後の12番の意見でございますが、小山田地区の人口減少についての懸念、また、対策を求める意見でありまして、都市計画や福祉等の各セクションで議論するのではなく、総合的なまちづくりの観点から議論してほしいとの意見でありました。まちづくり全体にかかわることであり、回答におきましても、新たな総合計画策定に向けた議論と言うところにも触れていただいていることから、当意見につきましては、新総合計画調査特別委員会へ申し伝えるという整理としております。

説明につきましては、以上でございます。

○ 森 康哲委員長

説明は、お聞き及びのとおりでございます。

それでは、今回の議会報告会でいただきました意見については、資料にまとめた、今、お聞き及びいただいたとおりでございますので、正副としては、先ほど説明のあったとおり、議会運営委員会のほうに報告をいたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 森 康哲委員長

それでは、この内容で議会運営委員会のほうへ報告させていただきます。

それでは、本日の会議はこれまでといたします。お疲れさまでございました。

13：04 閉議